

株式会社 石橋

環境活動レポート 2006 年度

作成日：2006年6月1日

承認		作成	
----	--	----	--

<http://www.1484c.com>

ごあいさつ

株式会社 石橋では和歌山県を中心として13店舗で化石燃料の販売という事業活動を行っております。これまでの環境への取り組みとしては、1995年に本社でのISO14001認証取得をはじめ、本社社屋・紀三井寺営業所への10kw太陽光発電の設置、新エネルギー・産業技術開発機構（NEDO）との共同研究による「廃植物油リサイクル燃料を用いたコージェネレーションシステム実証試験事業」など事業を行い、環境に配慮した経営の確立に向けて様々な取り組みを行っています。

このたび、EA21を用いた全事業所を対象とした環境経営マネジメントシステム構築にあたり、より一層の環境に配慮した経営の確立に向けて取り組んでいきたいと思っております。この環境活動報告書を通じて顧客・取引先を含む全てのステークホルダーに弊社の環境経営の取り組みを公開していきます。この報告書を見ていただき弊社のことを、ご理解していただくきっかけになれば幸いです。

2006年2月1日

代表取締役

石橋 幸四郎

株式会社 石橋 環境方針

<基本理念>

株式会社 石橋は、環境に配慮した経営が当社の重要課題であると認識し、環境経営システムを構築・運用し、全社一丸となって自主的・積極的に環境に配慮した事業活動を行います。

当社の化石燃料販売の事業活動における環境負荷の低減のため、行動指針を以下のように定めます。

<環境保全への行動指針>

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。
2. 以下について具体的な環境目標を定め、実施計画を立て、継続的改善に努めます。
 - ① 販売にあたっての総エネルギー投入量の削減（エネルギー・二酸化炭素）
 - ② 循環型社会構築のために廃棄物の削減（廃棄物）
 - ③ 周辺環境に配慮した水資源の効率的利用（水）
3. 当社のために働くすべての従業員にこの環境方針を周知します。
4. 上記で宣言し設定した目標・実施した結果については、環境活動レポートを通じて報告します。

2006年2月1日

代表取締役社長

石橋 幸四郎

□登録事業所の概要

(1) 事業者名及び代表者名

株式会社 石橋

代表取締役社長 石橋 幸四郎

(2) 所在地

本社：株式会社 石橋

和歌山県日高郡印南町印南1741

TEL：0738-42-0023

FAX：0738-42-0219 サイト管理者：松本茂文

関連事業所

番号		住所	サイト面積 (㎡)	管理者氏名
	サイト名称	TEL/FAX	人員(人)	備考
1	Gasta本店	和歌山県日高郡印南町印南1741	227	湯川 全弘
		0738-42-0023/0738-0219	2	
2	Gasta印南第二	和歌山県日高郡印南町印南3265	1,146	北山 哲也
		0738-42-0304/0738-42-0303	4	
3	Gasta田辺	和歌山県田辺市東山1-5-6	660	井上 和重
		0739-81-2296/0739-81-2366	4	
4	Gastaセルフ白浜	和歌山県田辺市新庄町北内ノ浦3021-4	674	井上 和重
		0739-25-1250/0739-25-1422	5	
5	Gastaセルフ美原	大阪府堺市美原町菅生753-1	806	松井 雅兼
		072-361-8051/	4	
6	Gastaセルフ貝塚	大阪府貝塚市王子762-1	539	松井 雅兼
		0724-32-0363/0724-32-0283	4	
7	Gastaセルフ泉佐野	大阪府泉佐野市南中安松1332-1	1,152	安護田 崇 泉佐野営業所 含む
		0724-65-3734/0724-65-3834	5	
8	Gastaセルフ田屋	和歌山県和歌山市田屋129-1	671	松井 雅兼
		073-461-7004/073-461-7015	4	
9	Gasta中央	和歌山県和歌山市吹屋町2-30	395.9	鳥居 勝也 和歌山中央営業所 含む
		073-436-2264/073-436-2261	7	
10	Gastaセルフ紀三井 寺	和歌山県和歌山市三葛南向浜253-2	1,979	松本 浩伸
		073-447-6770/073-447-6770	4	
11	Gastaセルフ下津	和歌山県海南市下津町丁141-1	1938	嶋田 清義 下津エコセンター 含む
		073-493-3460/073-493-3470	4	
12	Gastaセルフ有田	和歌山県有田郡吉備町水尻681	983	嶋田 清義
		0737-52-7676/0737-52-7636	3	
13	Gastaセルフ新宮	和歌山県新宮市三輪崎字源力林2203-1	1419	北山 哲也 2006年4月25日開 店
		0735-31-9009	4	

(3) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先
 責任者 本社・常務：松本 茂文 TEL：0738-42-0023

(4) 事業内容
 石油燃料の卸・小売販売

(5) 事業の規模
 製品販売額 86億円／年
 従業員 75名

□環境目標とその実績

目標数値は、燃料1L販売するにあたって当社が消費するエネルギー（電力・化石燃料）、水資源（上水、地下水）、ならびに燃料1Lを販売するにあたって排出される温室効果ガス（二酸化炭素）、廃棄物排出量の数値を月単位で集計し管理運営していくこととする。新エネルギー（太陽光発電・バイオマス燃料）については、数値管理を行うとともに、全体のエネルギー消費に対する使用量を増加させるための手段を検討していく。

目標設定項目は以下の通りである。

エネルギー	kJ/L（消費エネルギー/販売燃料1L）
二酸化炭素	g-CO2/L（二酸化炭素（g）/販売燃料1L）
一般廃棄物	g/L（廃棄物排出量（g）/販売燃料1L）
水	L/L（消費・排水水量/販売燃料1L）

項目	年度			2004年	2005年	2006年	2007年
				（基準値）	（実績）	（目標）	（目標）
エネルギー							
購入電力	使用量	kJ/L		76.363	74.980	74.835	73.3
化石燃料	使用量	kJ/L		8.429	7.986	8.26	8.153
新エネルギー	仕様量	kJ/L		3.639	2.786	3.712	3.78
温室効果ガス							
二酸化炭素	排出量	g-CO2/L		4.278	4.180	4.19	4.10
廃棄物排出量							
再使用	排出量	g/L		0.967	0.950	0.94	0.92
単純焼却	排出量	g/L		3.197	2.874	3.13	3.06
水資源排出量							
上水	排出量	L/L		0.057	0.053	0.0558	0.0552
地下水	排出量	L/L		0.026	0.029	0.0254	0.0254

上記の数値目標のほか、以下の取り組みを推進する。

- ① 全従業員対象の環境教育訓練の実施（年二回）
- ② グリーン購入の推進（事務用品グリーン購入手順書：EAP-8-06）

□環境活動の取り組み計画と評価

エコアクション21認証取得に向けて、計画を策定したのが、2006年2月であるために2005年度については、具体的な年間目標値を設定することが出来なかった。よって、以下に2005年度と2004年度の実績値の比較および2006年度の目標値達成に向けた取り組みの計画について記す。

○2005年度実績値から見る目標値の推移

項目	年度			2004年	2005年	増減率	評価
				(基準値)	(実績)		
エネルギー							
購入電力	使用量	kJ/L		76.363	74.980	-1.84%	○
化石燃料	使用量	kJ/L		8.429	7.986	-5.54%	○
新エネルギー	使用量	kJ/L		3.639	2.786	-30.6%	×
温室効果ガス							
二酸化炭素	排出量	g-CO2/L		4.278	4.180	-2.34%	○
廃棄物排出量							
再使用	排出量	g/L		0.967	0.950	-1.78%	○
単純焼却	排出量	g/L		3.197	2.874	-11.2%	◎
水資源排出量							
上水	排出量	L/L		0.057	0.053	-7.54%	○
地下水	排出量	L/L		0.026	0.029	10.35%	×

総括：

2005年度については、年度初頭よりエコアクション21認証取得に向けて準備を始めることを、各支店に連絡していたため、各従業員が環境及びコストに配慮した事業活動を行ってきた結果、概ね良好な結果が生まれた。しかし、新エネルギーの使用量が減ったこと（原因は、廃植物油リサイクル燃料の使用量が低減したため）や、地下水の消費・排出量が増加していること（原因としては、地下水は主に洗車機の水源として用いているために、洗車機の売上が増加することで必然的に増加するため）今後、それらについての対応を行う必要がある。

○2006年度取組み計画について

取り組み計画	達成目標	2006年2月～5月までの取組みの暫定評価
エネルギー・温室効果ガス		
① 電力の削減 (省エネルギー・省資源手順書：EMP-8-01) ・エアコンの温度設定 事務所：冷房 28℃ 暖房 20℃ 工場：冷房 26℃ 暖房 20℃ ・不要時の消灯 ・外灯の効率的な利用	目標：74.835kJ/L 削減率：-2%	上記期間の平均値 ：75.130kJ/L 基準値との差 ：-1.6%
② 化石燃料の削減 (省エネルギー・省資源手順書：EMP-8-01) ・急加速の抑制 ・冷暖房使用の抑制	目標：8.26kJ/L 削減率：-2%	上記期間の平均値 ：8.390kJ/L 基準値との差 ：-0.5%

③ 新エネルギーの利用 ・新エネルギーに対応したディーゼル車の導入検討	目標：3.712kJ/L 増加率：+2%	上記期間の平均値 ：2.786kJ/L 基準値との差 ：(-30.6%)
廃棄物		
① 一般廃棄物の削減 (一般廃棄物の分別手順書：EAP-8-02) ・配布資料の削減 ・裏紙の利用 ・ミスコピーの防止 ・webメールの活用 (産業廃棄物処理・委託手順書：EAP-8-03) ・産業廃棄物の適正管理・処理	目標：4.07g/L 削減率：-2%	上記期間の平均値 ：3.82g/L 基準値との差 ：-8%
水資源		
① 水資源の効率的な利用 (節水及び排水関連手順書：EAP-8-04) (省エネルギー・省資源手順書：EMP-8-01) ・洗濯機の効率的な利用 ・節水意識の向上	目標：0.0812L/L 削減率：-2%	上記期間の平均値 ：0.085L/L 基準値との差 ：+2.4%

試験運用期間における取組み結果に対するの代表者のコメントは以下の通りである。

エネルギー・温室効果ガス：

各サイトにおいて、どれぐらい電力を使いながら販売しているのか自覚させた上で、環境だけでなくコスト意識にまで踏み込んだ運営をして欲しい。

廃棄物：

特に問題ないので、各サイトでの取り組みを支援する意味でも、E-Mailなどの積極的な利用を進めていくこと。

水資源：

業務において、常時使用するものではないために、意識が水使用量削減まで向かない可能性も考えられるが、環境・コストのためにも改善させること。

□環境関連法規制等の順守状況

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される対象施設など
廃棄物処理法	おもに油泥・廃油
消防法	各営業所
家電リサイクル法	洗濯機、冷蔵庫、エアコンなどの廃棄時
浄化槽法	保守点検・定期点検（浄化槽を有する営業所）
高圧ガス保安法	知事への届出（LPガス）
PRTR法	届出手続き・排出量の計算

環境関連法規制等の順守状況の定期評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。また、過去3年間にわたって違反や訴訟もありませんでした。

以上